

ふるさと探訪

第26回

丹原ふるさと歴史館



平成14年にオープンした丹原ふるさと歴史館には、丹原町内のほ場整備事業などで発掘・出土した遺物の代表的なものが時代別に整理され、解説を加え展示されています。兼久^{かねくさ}廃寺遺跡、願連寺泉遺跡、星野遺跡などから出土した数々の遺物は歴史的な価値

も高く、例えば、兼久廃寺遺跡出土の八葉^{はちよう}複弁蓮華^{ふくべんれんげ}文軒丸瓦^{もんぎまる}や忍冬唐草文軒平瓦、布目瓦などは白鳳時代を偲ばせる出土品であり、遺構跡の現地からも礎石跡を示す一辺90^{センチ}もある隅丸の黒い土跡が検出され、当時の巨大寺院を想像させるに十分な資料です。



歴史館の外観（上）と出土品（下）

また、玄関には丹原町出身の岩石研究家・玉井肅一氏の岩石標本が展示されています。この標本は玉井氏が生涯をかけて研究された岩石研究の成果として全国各地から収集した241種類の標本であり、これほど多くの標本が揃って

いることは珍しく、遠くよりわざわざ勉強に訪れる人もいます。この標本は、平成16年9月28日に市指定の天然記念物に指定されました。

■住所

丹原町池田1701-1

■開館日

土・日曜日

※他の曜日でも、教育委員会丹原分室に電話（0898-6817300）をすれば、執務時間中は開館します。

■駐車場

あり（無料）

